

第41回 中国・四国地区聾教育研究大会（香川大会）開催要項（最終案内）

1 大会主題「主体的・対話的で深い学びを通して、コミュニケーション力を育む」

2 設定理由

聞こえない、聞こえにくい子どもたちが、変化する社会の中で直面する様々な困難を克服し、主体的に生き生きと生活していくためには、基礎的・基本的な知識や技能、言語力、コミュニケーション力が必要不可欠である。近年、幼児児童生徒の障害が重複化・多様化しており、聾学校の教員には、聴覚障害児教育の専門性と同時に、個々の子どもへの理解と個に応じた丁寧で柔軟な指導力が必要とされている。しかし一方で、教員の異動等により、専門性の維持や継承が大きな課題となっている。聾学校として担ってきた役割を再確認し、指導内容や指導方法の目的や意図を共通認識したうえで、子ども達一人一人の教育的ニーズに応じた指導を充実させていかなければならない。

新学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善を目指すことが求められている。聴覚障害教育において、従前より追求してきた指導を改めて念頭におき、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図っていくことで、子どもたちが将来、社会生活で必要となるコミュニケーション力の向上を目指したいと考え、本主題を設定した。

3 主催 四国地区聾教育研究会・中国地区ろう教育研究会

4 日時 令和5年12月7日（木）・12月8日（金）

5 会場 香川県立聴覚支援学校

6 後援 香川県教育委員会・高松市教育委員会・香川県特別支援学校長会

7 日程

【指定研究授業VTR視聴： 11月1日（水）～15日（水）】

【指定研究授業質問受付： 11月1日（水）～22日（水）】

【大会第1日目 12月7日（木）： 公開授業・授業研究会・記念講演】

10:10	10:40	11:30	12:30	13:45	14:00	14:30	16:30
受付	公開授業 寄宿舍公開	昼食	授業研究会	移動	開会 行事	記念講演	

※16：40より分科会でのPC等の動作チェックを行い、続いて打ち合わせを行います。

※別途お申込みいただいた情報交換会は、18：30より別会場にて行います。

【大会第2日目 12月8日（金）： 分科会】

8:30	9:00	11:30	11:40	12:00
受付	分科会		移動	閉会行事

8 内 容

(1) 指定研究授業 【指定研究授業VTR視聴： 11月1日(水)～15日(水)】

※必ず所属機関内での視聴をお願いします。

学部	学級	教科・領域	単元名	指導者
幼稚部	あか	環境・言葉	クイズごっこをしよう	河合瞳
小学部	4年2組 6年2組	自立活動	「なかよしタイム」を楽しくするために話し合おう	池田愛 池上勝治 佐藤明佳
中学部	2年2組 3年2組	数学	文章問題にチャレンジ!	長尾智子
高等部	1年1組	数学A	第1章場合の数と集合 第1節 場合の数 6 組合せ	植松芳彦

【指定研究授業質問受付： 11月1日(水)～22日(水)】

(2) 公開授業 12月7日(木) 10:40～11:30

学部	学級	教科・領域等	指導者	場所
幼稚部	あか・みどり	ゲームをしよう	玉野比早代 鎮田薫 渡辺千種	みどり
	あかほし	えのぐであそぼう	大成めぐみ 廣瀬敦子 秋岡竜成	あかほし
小学部	1年1組 2年1組 2年2組	図工	藤原正子 長谷川篤	1年1組
	4年2組 6年2組	自立活動	佐藤明佳 丹下英之	第2学習室
中学部	3年1組	英語	藤井亜紀	3年1組
	1年2組 2年2組 3年2組	自立活動	秋和慶子 松田有香 牧谷陽平	視聴覚室
	1年1組	論理・表現 I	葛西良平	1-1、2-1、3-1 HR教室
高等部	2年1組	化学基礎	福井信恵	理科室
	3年1組	総合的な探究の時間	佐々木桂子	第6学習室
	1年2組 2年2組 3年2組	生活単元学習	井口真由美 山本章弘 鈴木直人	1・2・3-II HR教室

(3) 寄宿舍公開 12月7日(木) 10:40~11:30

寄宿舍内見学	寄宿舍指導員が10:40より2グループに分かれて案内します。 希望者の方には当日受付でグループをお知らせします。	場所
		寄宿舍

- (4) 記念講演 講師 金沢大学 人間社会研究域 学校教育系
教授 武居 渡 氏
演題 「対話のための日本語と手話」

(5) 授業研究会 幼稚部教育、小学部教育、中学部教育、高等部教育、寄宿舍教育

	助言者	会場
幼稚部	社会福祉法人十神 やすぎこども園長 (前島根県立松江ろう学校長) 福島 朗博 氏	遊戯室
小学部	金沢大学 人間社会研究域 学校教育系 教授 武居 渡 氏	会議室
中学部	筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 准教授 脇中 起余子 氏	視聴覚室
高等部	亜細亜大学 経営学部 経営学科 特任准教授 橋本 一郎 氏	寄宿舍会議室
寄宿舍	香川県立香川中部支援学校 教頭 西山 香 氏	多目的室

(6) 分科会

第1分科会 早期教育	テーマ	やり取りを楽しむ子どもをめざして
	設定理由	幼稚園教育では、遊びや活動を単なる体験に終わらせず、幼児自身が積極的に周囲に関われるような環境作りが発達には大切であるとしている。これまで本校幼稚部では、遊びや活動の中での教員のかかわり方や個に応じたコミュニケーション支援について実践をしてきた。今回は、主体性と環境に焦点を当て、幼児が自ら楽しくやり取りをする場となる掲示物等の環境作りを中心に、季節の行事などで使用する言葉についても継続して研究をする。
	助言者	社会福祉法人十神 やすぎこども園長 (前島根県立松江ろう学校長) 福島 朗博 氏
	司会担当	広島県立呉南特別支援学校 関 厚子
	記録担当	鳥取県立鳥取聾学校ひまわり分校 野口 明子 香川県立聴覚支援学校 大成 めぐみ
	発表担当	やり取りを楽しむ子どもをめざして 香川県立聴覚支援学校 渡辺 千種 子どもが主役となる授業づくり ～「やってみたい」「伝えたい」思いを育む活動のあり方と教師の支援に着目して～ 鳥取県立鳥取聾学校 舛田 和雅子 金澤 知衿
運営担当	香川県立聴覚支援学校 元谷 美保	

第2分科会 小学部教育	テーマ	言語力を高め対話を楽しむ子どもをめざして
	設定理由	新学習指導要領では、「子供たちの生きる力をはぐくむことが大切であり、教科学習で学んだことを生かした主体的・対話的な学びを目指す」と示されている。これまで本校の小学部では、集団を確保するために縦割りの小グループを作り、児童の言語力の向上を目指してきた。今回は、これまで取り組んできた言語力を高める指導を継続するとともに、子どもたちがお互いに思いや考えを伝えるために、対話を大切にした環境作りや授業について研究する。
	助言者	金沢大学 人間社会研究域 学校教育系 教授 武居 渡 氏
	司会担当	広島県立尾道特別支援学校 和田 佳奈美
	記録担当	徳島県立徳島聴覚支援学校 門田 啓子 香川県立聴覚支援学校 丹下 英之
	発表担当	言語力を高め対話を楽しむ子どもをめざして 香川県立聴覚支援学校 林 アイミ 聴覚障害児の思考力を育てる指導の在り方 広島県立広島南特別支援学校 濱村 美香
運営担当	香川県立聴覚支援学校 中川 寛	

第3分科会 中学部教育	テーマ	生徒一人一人の実態に応じた言語力の向上をめざして
	設定理由	言語力はコミュニケーションや学習活動の基盤であり、新学習指導要領においても、「言語活動の充実」は引き続き重要なキーワードである。中学部では、聞こえやコミュニケーションモードの違い、発達段階等を考慮した個々の実態を丁寧に把握し、中学部の全教員が各生徒の課題と目標を共通認識する。それをもとに各教科・領域等の連携を図り、生徒一人一人のコミュニケーションを豊かにするための、言語力向上の環境作りと指導方法について研究する。
	助言者	筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 准教授 脇中 起余子 氏
	司会担当	愛媛県立松山聾学校 金並 正教
	記録担当	愛媛県立宇和特別支援学校 阿部 久美 香川県立聴覚支援学校 松田 有香
	発表担当	生徒一人一人の実態に応じた言語力の向上をめざして 香川県立聴覚支援学校 横山 奈津 子どもが主体的・対話的に活動し学びを深める授業づくり ～協働的な学びの設定を通して～ 島根県立松江ろう学校 手銭 真由美
運営担当	香川県立聴覚支援学校 中條 拓也	

第4分科会 高等部教育	テーマ	相手と通じ合うための力を伸ばし、社会で活かせるコミュニケーション力の向上をめざして
----------------	-----	---

設定理由	新学習指導要領では生徒が自ら学び、実際の社会や生活で対応できる知識及び技能を身に付けることが目標に述べられている。高等部では生徒一人一人の発達段階や希望する進路を踏まえ、個に応じた課題を設定している。また対話的な学習を行い、生徒同士の話し合い活動や、校外での活動の中で社会で活かせるコミュニケーションについて学ぶ機会を多く設定している。実践的な場を通し、社会で相手と通じ合うための力を伸ばすための指導・支援の在り方について研究する。
助言者	亜細亜大学 経営学部 経営学科 特任准教授 橋本 一郎 氏
司会担当	島根県立浜田ろう学校 多々納 裕美
記録担当	山口県立山口南総合支援学校 西野 直人 香川県立聴覚支援学校 井口 真由美
発表担当	相手と通じ合うための力を伸ばし、社会で活かせるコミュニケーションの力の向上をめざして 香川県立聴覚支援学校 木村 志保 社会で活かせるコミュニケーション能力を育てる取り組みについて 徳島県立徳島聴覚支援学校 杉本 和美 板東 朋昭
運営担当	香川県立聴覚支援学校 岡本 美穂

第5分科会 寄宿舎教育	テーマ	豊かなコミュニケーションの育成をめざして
	設定理由	寄宿舎では異年齢での生活環境の中で自主性・協調性・責任感を養い、生活場面に応じた言語力の向上と自立心の育成を目標としている。子ども一人一人の実態に応じて、卒業後の進路を見据え、言語力や豊かなコミュニケーション力の向上を目指した課題を設定している。自治活動を通して、集団や社会の一員としてより良い人間関係を築く力を養うための環境作りや支援の在り方について研究する。
	助言者	香川県立香川中部支援学校 教頭 西山 香 氏
	司会担当	高知県立高知ろう学校 山岡 あゆみ
	記録担当	愛媛県立松山聾学校 近藤 志瑞佳 香川県立聴覚支援学校 竹田 美穂
発表担当	豊かなコミュニケーションの育成をめざして 香川県立聴覚支援学校 猪池 豊 舎生の主体性を育むために ～一人一人が主体的に取り組む舎生会活動を目指して～ 岡山県立岡山聾学校 藤谷 倫子	
運営担当	香川県立聴覚支援学校 稲葉 敬子	

9 開会式次第

- | | | |
|--------------|----------------------------------|--------|
| (1) 開式の言葉 | 大会副実行委員長（香川県立聴覚支援学校教頭） | 西岡 真由美 |
| (2) 大会会長あいさつ | 大会会長（四国地区聾教育研究会会長：愛媛県立松山聾学校長） | 川井 博樹 |
| (3) 祝辞 | 香川県教育委員会事務局特別支援教育課長 | 藤田 明 |
| (4) 来賓紹介 | 大会副会長（四国地区聾教育研究会副会長：高知県立高知ろう学校長） | 山中 智子 |
| (5) 閉式の言葉 | 大会副実行委員長（香川県立聴覚支援学校教頭） | 西岡 真由美 |

10 閉会式次第

- | | | |
|-----------------|-------------------------|--------|
| (1) 開式の言葉 | 大会副実行委員長（香川県立聴覚支援学校教頭） | 西岡 真由美 |
| (2) 実行委員長あいさつ | 大会実行委員長（香川県立聴覚支援学校長） | 秋山 秀樹 |
| (3) 次期開催校校長あいさつ | 次期開催校校長（広島県立広島南特別支援学校長） | 秋山 努 |
| (4) 閉式の言葉 | 大会副実行委員長（香川県立聴覚支援学校教頭） | 西岡 真由美 |

11 参加費等

会員 2,500円 非会員 3,500円 記念講演のみ 1,000円
学生の参加費 1,300円

12 大会事務局および連絡先

第41回中国・四国地区聾教育研究大会（香川大会）事務局

〒761-8074 香川県高松市太田上町513-1（香川県立聴覚支援学校内）

TEL 087-865-4492 FAX 087-868-1480

E-mail chokaku-s02@kagawa-edu.jp

大会ホームページ <https://www.kagawa-edu.jp/rogaku02/>

大会実行委員長 校長 秋山 秀樹

大会事務局長 教諭 福家 雅美